



リノイ

供養gallery

# 海洋散骨とは

いつも一緒に。愛する人の想いは、ここからはじまる。

もしものときの  
安心ツール  
ケアマネジャー様  
お役立ち情報紙

## あんしる新聞

Vol.15

**あんしる**  
介護施設・老人ホーム紹介

〒060-0807  
札幌市北区北7条西1丁目2-6  
NCO札幌16階  
☎：0120-136-777  
受付時間 9：30-17：30  
✉：info@anshiru.jp  
HP：https://anshiru.jp/



←YouTube



Instagram→



←TikTok

### 海洋散骨とは

海洋散骨とは、「祭祀の目的をもって、故人の火葬後の焼骨を海上に散布すること」をいいます（一般社団法人日本海洋散骨協会ガイドラインより）。「自然に還りたい」「大好きだった海で眠りたい」と願う方や、お墓を持たない事情のある方にとつて、海洋散骨は想いを叶える新しい供養の形として選ばれています。散骨の方法には、船舶を利用する方法と、ヘリコプターやセスナ機で沖合に出て空から散骨する方法があります。

### 海洋散骨の流れ

◆遺骨の準備◆  
遺骨をパウダー状に細かく砕き、散骨を行う海域を選定します。  
対応地域…小樽・室蘭・函館

◆プラン選び◆  
ご希望に合わせて、以下の3つのプランからお選びいただけます。

【チャーター散骨】  
一隻の船を貸し切り、ご家族やご友人と共に散骨を行います。

・実施期間…6月1日～8月31日  
・日時指定可能  
・最大10名様まで乗船可能

【合同乗船散骨】  
他のご家族と乗り合いで散骨を行います。

・1組最大3名様まで乗船可能  
・指定された日程から選択

【代行委託散骨】  
ご乗船が難しい方のために、スタッフが行って散骨を行います。

◆散骨当日◆  
出航後、散骨海域に到着次第、散骨を行います。花びらを海へ献花し、旅立ちを祈り、帰港します。散骨証明書を作成し海洋散骨は終了します。

### 旅立ちの前に

海に散骨を行うと、遺骨を回収することはできません。そのため、一部を小さな骨壺に自分たちで保管したり、ペンダントなどに納めて身につける手元供養の方法もございます。また、お墓のように定期的にお参りを希望される方には、**モリアルクルーズ**のご利用がおすすめです。散骨を行った海域へ再び訪れ、故人さまを偲ぶことができます。



今回は『海洋散骨』についてご紹介しました。実際に私も海洋散骨に参加をしました。故人の想いに寄り添い、自然へと還るやさしい供養のかたち、それが海洋散骨。夕風に、波に乗っていく様は美しくそれでいてはかない気持ちになりました。【供養galleryリノイ】では、海への旅立ちを心を込めてお手伝いしています。かけがえのない人を偲ぶ時間が、癒しと前を向く力になりますように。ご遺族の想いに寄り添ったご提案をしています。実際にあんしるで老人ホームをご紹介した方の中にも「最後は海洋散骨を」と希望されている方もいます。海洋散骨はもちろん、納骨、ペット供養もご紹介可能です。気になることがございましたらいつでもお問い合わせください。

